

学校名	熊谷市立吉岡小学校
所在地	熊谷市万吉2103番地
電話	048-536-1308

1 本校の概要

本校は、明治9年に創立され、今年で開校144年目を迎える全校児童266名、12学級の歴史と伝統のある学校である。熊谷市の南部に位置し、北に荒川が流れ、自然や教育環境に恵まれた地域である。「みんなと仲よくし進んで学び最後まで取り組む子の育成」を学校教育目標に掲げ、学校・家庭・地域と子供たちの健やかな成長のため協働して歩んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

「学校図書館を利用した学習の充実と情報活用能力の育成」を重点目標とし、家庭や地域との連携、学校図書館等の環境の工夫に努めている。

(2) 実践の概要

ア 読書活動の充実

① 読書の木

図書カードが1枚終わると校内に名前の掲示と、オリジナルのしおりを渡し、読書への意欲を高めている。



【読書の木】



【オリジナルしおり】

② 図書委員会による読み聞かせ

本の楽しさを低学年に伝えるため、ビッグブックを使用した読み聞かせを実施している。

イ 家庭や地域との連携

① 家庭読書の日

毎週火曜日を“家庭読書の日”とし、読書の習慣を身に付けている。冊数や時間など、1か月の目標を個々で決めて取り組んでいる。

② 本とのふれあい(本とのふれあい事業)

7月～12月に各学年1回、おはなしの会「虹」の皆様による読み聞かせを通して、様々な読み物に親しむ態度を育てる。



【本の読み聞かせの様子】

ウ 学校図書館等の環境の工夫

① 第2図書室の整備

低学年向けの本を約300冊配架し、じゅうたん敷きの床で、低学年の児童が業間や昼休みなどリラクセスした雰囲気を利用している。

② 読書コーナー

5、6年生の昇降口前に“読書コーナー”を設置し、読書に親しむ場をつくる。

③ 先生おすすめの本を紹介

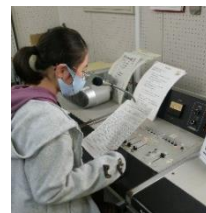
本の写真と紹介文を図書室や職員室前、給食室前にローテーションで掲示をし、本への興味・関心をもたせている。



【本の紹介掲示】

④ 校内読書週間の設定

毎年11月下旬に校内読書週間を設置。給食時に読書感想文の代表者の発表と図書委員会の児童によるおすすめの本を紹介し、主体的に読書をする力を促している。



【放送で紹介】

3 成果と今後の課題

(1) 成果

これらの活動を通して、昼休みの時間になると本を持ち図書室へ向かう児童の姿が多く見られた。また、国語や社会等の授業での図書室活用も増えた。そして、読書好きの児童が増えたことで、児童同士で本について語ったり、薦めたりし、読書する習慣を身に付けている様子が見られた。

(2) 今後の課題

図書室の利用児童が固定化しているため読書好きではない児童の関心・意欲の向上が課題である。今後も図書室の環境整備・充実を継続していき、学校だけではなく、家庭でも読書をする機会を更に増やす等の工夫に取り組むことで、読書に親しむ態度の育成に努めていきたい。